

科目名	科学技術英語	英文表記	English for Science and Technology		12/03/2016		
科目コード	3005						
教員名:星野恵里子 技術職員名:N/A					修正		
対象学科/専攻コース		学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科		4年	必	履修	2単位	演習	前期
科目目標 【MCC目標】	科学技術分野に関連する記事、論文、図書等を、平易な英語を通して学ぶことにより、四技能の更なる育成を図る。 【III-B】						
総合評価	学年末評価は、後期中間・期末の定期試験50%+英語による debate(原稿20%+発表10%)30%+毎回のquiz20%で換算し、60%以上を合格とする。						
科目目標達成度	目標割合	科目達成度目標	達成度目標の評価方法	ルーブリック			セルフチェック
	25%	① 平易な英語で書かれた専門分野に関する論文などを、正確に理解できる。	正しく読めるか、定期試験及び講義中でのクイズで評価する。	理想的な到達レベル 平易な英語で書かれた専門分野に関する論文やマニュアルなどを、辞書を用いずに正確に理解できる。未習の構文や単語などは既習事項から推測して読める。	標準的な到達レベル 平易な英語で書かれた専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を、辞書を用いて理解できる。	最低限必要な到達レベル 平易な英語で書かれた専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を、辞書を用いて断片的に理解できる。	
	25%	② 平易な英語で話された専門分野に関する事項などを、正確に聞き取ることができる。	正しく聞けるか、ディベートの質疑応答などで判断する。	平易な英語で話される専門分野に関する内容について、正しく理解できる。質疑応答時に予想外の事項が話されても正しく聞き取れる。	平易な英語で話される専門分野に関する内容について、はっきりとした発音で話されれば理解できる。	平易な英語で話される専門分野に関する内容について、はっきりとした発音で何度か話されれば断片的に理解できる。	
	25%	③ 専門分野に関する事項などを、平易な英語で正確に話すことができる。	正しく話せるか、ディベートのパフォーマンスで評価する。	専門分野に関して、平易な英語でプレゼンテーションやスピーチを行い、「内容に関してやり取りをすることができる。	専門分野に関して、平易な英語でプレゼンテーションやスピーチを行うことができる。	専門分野に関して、時々つかえながら英語でプレゼンテーションやスピーチを行うことができる。	
	25%	④ 専門分野に関する事項などを、平易な英語で正確に書くことができる。	正しく書けるか、定期試験及び講義中でのクイズ、ディベート原稿で評価する。	専門分野に関するプレゼンテーションやスピーチ用の英文原稿や英文資料を、平易な英語で書くことができる。また、書いたものに説得力がある。	専門分野に関するプレゼンテーションやスピーチ用の英文原稿や英文資料を、基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	専門分野に関するプレゼンテーションやスピーチ用の英文原稿や英文資料を、時折不適切な表現を交えながらも書くことができる。	
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4			
	◎	○	○	○			
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック
評価項目		50	20	0	30	100	
基礎的理解		30	20			50	
応用力(実践・専門・融合)		10				10	
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)					20	20	
主体的・継続的学修意欲		10			10	20	

授業概要、 方針、履修 上の注意	専門分野に関する論文等を講読する。 あるテーマに関してディベートをする。ディベートチームは適宜グループ分けをする。
教科書・ 教材	プリント使用。英和辞典・和英辞典・英英辞典など。

授 業 計 画

週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク
1		0			
2		0			
3		0			
4		0			
5		0			
6		0			
7		0			
8	前期中間試験(行事予定で週変更可)	0			
9		0			
10		0			
11		0			
12		0			
13		0			
14		0			
15		0			
期末	期末試験	[2]			
16	オリエンテーション	2	教材紹介。ディベート概論。ディベートチーム編成。	教材の予・復習	
17	英文演習とディベート準備、およびクイズ	2	科学技術論文講読。ディベートテーマに関する資料講読。	教材や資料の予・復習	
18	英文演習とディベート準備、およびクイズ	2	科学技術論文講読。ディベートテーマに関する資料講読。	教材や資料の予・復習	
19	英文演習とディベート準備、およびクイズ	2	科学技術論文講読。ディベートテーマに関するproとcon。	教材の予・復習 ディベートテーマ考察	
20	英文演習とディベート準備、およびクイズ	2	科学技術論文講読。ディベートテーマに関するproとcon。	教材の予・復習 ディベートテーマ考察	
21	英文演習とディベート準備、およびクイズ	2	科学技術論文講読。ModeratorとTime keeperを決める。	教材や資料の予・復習	
22	試験対策	2	後期中間試験対策。	中間試験対策	
	後期中間試験				
23	英文演習とディベート準備、およびクイズ	2	試験返却と科学技術論文講読。対戦チームを決める。	教材の予・復習	
24	英文演習とディベート準備、およびクイズ	2	科学技術論文講読。Constructive speechとSummary原稿作成。	教材の予・復習 ディベート原稿作成	
25	英文演習とディベート準備、およびクイズ	2	科学技術論文講読。Cross-examinationとRebuttal対策。	教材の予・復習 ディベート原稿作成	
26	英文演習とディベート準備、およびクイズ	2	科学技術論文講読。ディベートルハーサル。	教材の予・復習 ディベート原稿作成	
27	ディベート	2	ディベート。	ディベート資料作成 スピーチ練習 作戦会議	
28	ディベート	2	ディベート。	ディベート資料作成 スピーチ練習 作戦会議	

29	ディベート事後活動	2	ディベートのまとめ。結果発表等。	ディベート資料作成 スピーチ練習 作戦会議	
30	試験対策	1	後期期末試験対策。	期末試験対策	
期末	期末試験	[2]			
学習時間合計		29	実時間		21.75
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)					標準的所用時間(試行)
①	科学技術論文講読・単語・イディオムの習得。			各2時間×30回	
②					
③					
備考欄					